

平成26年度 事業計画(案)

平成26年4月1日より平成27年3月31日まで

1. 【事業実施の方針】

フォーラムは、良好な地域環境の確保と地球環境保全に関する意識の高揚・保全活動に係る事業を行い、「環境都市うつつのみや」の実現に寄与することを目的としています。

平成26年度指定管理者を継続取得した宇都宮市環境学習センターのフィールドを最大限に生かすとともに、会員の参加を得てその目的達成にまい進したいと考えます。

- (1) 【市民・事業者・行政（以下「各主体」という）の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業】
 - ①ホームページ「U-net」の充実と会報誌「Eco together」、さらにメルマガ等での情報発信につとめ、各主体間の環境情報の提供と交流を行う。
 - ②市内で開催される環境イベントへ出展し、当法人の活動内容を積極的に広報する。
- (2) 【各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業】
 - ①次の部会活動を継続実施する。定期的に部会長会議を開催し情報共有と連携を強化する。
 - ・エコライフ推進部会
 - ・里山保全部会
 - ・自然観察部会
 - ・再生可能エネルギー部会
 - ②部会独自の活動だけでなく、環境学習センター、団体、大学等との連携事業を通して、環境ネットワークの醸成に努める。
- (3) 【テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業】
 - ①テーマに応じた環境活動を企画し、市民が気軽に参加し学べる機会の提供に努める。主に(2)項に示す部会が中心になり体験型イベントを企画運営する。
- (4) 【宇都宮市環境学習センター受託事業】

平成25年度も、前年度に続き年間利用者3万人を達成した。指定管理者第1期目（3年間）を大きな成果を上げ、平成25年12月に指定管理者第2期目（5年間）の指定をいただいた。平成26年度から始まる指定管理者第2期目は、さらなる事業の質的向上を狙い、幅広い層の参加を得て活動を進めたい。

平成26年度は、市民ニーズの的確な把握とフォーラム事業との連携を通して、主軸である環境学習機会提供機能の強化を図るとともに、安定した事業運営のため体質強化に努める。

2. 【事業計画】

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画
<p>1) ホームページ (U-net) の運営 【運営：情報部会】 やや停滞ぎみにあるホームページを活性化し、各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、内容の充実を図る。 さらにメルマガ等を活用し、ホットな情報発信にも努める。</p>
<p>2) 会報誌 (Eco together) の発行 【運営：情報部会】 特集記事の企画、U-net、他団体と連携した紙面づくりを行い、環境情報の総合的、体系的整備を行い環境活動情報の配信を行なう。 平成 26 年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりに留意する。 発行予定回数：4 回(6 月、9 月、1 月、3 月) 配布先：従来の会員に加え関係団体・機関へも配布</p>
<p>3) 環境イベントへの参画 下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRに努める。</p> <p>① もったいないフェア (9 月予定) 場所：宇都宮城址公園 ② エコもりフェア (10 月予定) 場所：栃木県子ども総合科学館 ③ その他環境イベント</p>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画
<p>【運営：エコライフ推進部会】</p> <p>1) エコライフ推進に関する環境学習の場の提供</p> <p>①新体制での独自活動のあり方検討 ②環境学習センター事業「エコライフ関連」の企画運営</p>
<p>【運営：里山保全部会】</p> <p>2) 里山環境の保全と環境学習の場の提供</p> <p>①里山の保全活動： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行なう。 ②環境学習センター事業「自然体験分野」の支援 及び地域の環境活動支援</p>
<p>【運営：自然観察部会】</p> <p>3) 環境団体との協働で市民が気軽に参加し楽しく学べる機会の提供</p> <p>①自然体験 ・野鳥観察会 (5 月・12 月) ・星空観察会 (1～2 月) ③ 環境学習センター事業「天体望遠鏡づくり講座」、「星空観察会」の企画運営</p>
<p>【運営：再生可能エネルギー部会】</p> <p>4) 栃木の再生可能エネルギー創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探る機会の提供。</p> <p>①勉強会・施設見学会・実践者との懇談会等の実施 (毎月) ②参加メンバーの募集 ③環境学習センター事業「栃木の再生可能エネルギー施設見学会」の企画運営</p>

(3) テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業

事業計画

【運営：各部会、事務局】

- 1) 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。(主に環境学習センター連携事業)
 - ① 伝統工芸(染め・織り)の体験学習
 - ② 農業の現場をみる勉強会
 - ③ プチ農業体験
 - ④ 里山体験
 - ⑤ 栃木の再生可能エネルギー施設見学
 - ⑥ 足尾植樹体験

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画

【運営：学習センター事業部】

平成26年度は、指定管理者第2期の初年度にあたる。年間利用者3万人を安定的に確保するとともに、事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を狙いたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めていく。

- 1) 環境学習機会提供機能
地球温暖化・再生エネ・省エネなどを重点テーマに講座の充実、他の環境団体との連携による自然体験講座の導入、さらにリサイクル講座も充実する。また、企業・社会人向け見学を拡充し、栃木県最大のごみ発電能力のあるクリーンパーク茂原の学習機会を提供する。
- 2) 活動支援機能
事務局を担当する宇都宮市「こどもエコクラブ」の活性化、自主活動グループの活動支援、また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての参加を働きかける。
- 3) 交流促進機能
自主活動グループ、地元自治会、各種団体、企業等の支援をいただき「エコまつり」を開催し、新しい市民の参加を誘導する。
- 4) 情報提供機能
1階展示場の改善を進め、再生品提供事業、視聴覚教材、各種環境団体、企業などの情報提供を充実する。
- 5) 体質強化機能
市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。
- 6) 市民サービスの向上
フォーラムを含め外部評価を積極的に入手し事業運営に反映する。